

# 第2回 環境コミュニケーション促進分科会 における 議論の主要ポイント

## 1. 環境経営レポート作成・活用マニュアルのあり方について

- 30人程度の組織を前提とする
- 導入、発展、継続的発展（いずれも仮称）に段階を分けて、優良事例を掲載する（事例、どこが良いのか、さらなる改良点）
- 導入段階は審査時の書類をまとめていく最低限の段階
- 導入段階にとどまってしまうリスクにどのようにマニュアルとして対応するか要検討（次の段階への誘導のしくみ等）
- 各分科会委員で分担し、環境コミュニケーション大賞受賞事業者の環境活動レポートから発展／継続的発展の優良事例を抽出する（発展／継続的発展の別については事例抽出後にすり合わせを行う）
- レポートに対する第三者意見を掲載してもよいこととする
- 実際の活用事例だけでなく、潜在的活用事例も掲載することを検討

## 2. 今後の流れ

- 9月6日(火) 委員作業締切後、事務局で取りまとめ、第3回分科会ではマニュアルの草稿に対して、各委員からご意見をいただく